

会 議 概 要

第2回 【修斉校区】学校適正化に向けた校区懇談会

《開催日》令和4年9月8日（木曜日）

《時 間》19：30～21：00

《場 所》葛城地区公民館 講座室 1

《参加者》地域参加者：11名 教育委員会事務局：5名

<議題等>

- 1 開会
- 2 事務局挨拶
- 3 懇談会参加者・事務局の紹介
- 4 議題
 - (1) 事務局からの説明事項について
 - (2) 意見交換

事務局

(別添資料に沿って内容を説明)

参加者

以前に教員を務めていた家族から、岸和田市の中学校は非常に荒れている状況だと聞く。施設一体型小中一貫校を整備する計画案を示されているが、(仮称)学校開校準備委員会設置から5年という期間で、児童生徒が安心して学べる環境に整えられるのかが大いに疑問。

資料ではつくば市の事例を紹介されているが、つくば市は圃場整備がきちんと実施され、道路も広く、スクールバスの通行に何ら問題がない。東京教育大学を前身とする筑波大学もあるなど、家庭を含めて教育レベルが非常に高い。大阪府内でみても、堺市三国ヶ丘や北摂地域と泉州地域では家庭の所得や教育環境に格差がある。また和泉市のはつが野も、新たに開発された区域の道路は広い。

そうした環境差や、コスト面も踏まえると、岸和田市では施設一体型小中一貫校ではなく、小学校同士で空き教室を利用するなどして再編する方が望ましいのではないか。

また現在、消防署から上がっていったところ(徳松池・コロベ池埋立地)に民間の認定こども園が整備されている。当該地域に民間が入ってくる余地があることを踏まえ、園児数が1人か2人なら、修斉幼稚園を認定こども園にすればよい。保護者は夕方遅くまで預かってほしいというのが本音だと思う。

事務局	<p>教育環境全般を考えると、まずは教員数を増やしたり、事務職員を増やしたりといった方策が、コスト面も含めて望ましいものだと考える。</p> <p>自治体によって特徴や環境、事情が異なるのはおっしゃるとおり。その中で、本市の状況を踏まえた結果、（仮称）葛城小中一貫校の設置という案をお示ししているところ。</p> <p>仮に合意を得て取組を進める場合、他市とまったく同じ取組をするというだけでなく、独自の良さを打ち出していけるよう、可能なことから検討し、取り組んでいく必要があると考えている。</p>
事務局	<p>学校現場では、教員が子どもたちに寄り添いながら対応してきたところだが、地域の皆様からいただく中学校の教育環境に対するご意見については真摯に受け止め、更なる環境改善に向け、全市的に対応していきたい。</p>
参加者	<p>例えば葛城中学校と土生中学校の統合という方策もあるのでは。</p>
事務局	<p>中学校区を超えての統合再編は、地域や児童生徒に与える影響が大きいと考え、現在は中学校区単位での再編案をお示ししているところ。一方で、現案で確定ということでもないため、様々なご意見を皆様方からお聞きしたいと思う。</p>
参加者	<p>昔は1学年10～15学級という中学校もあったくらいなので、現在とは状況も異なる。例えば、暴力問題はあってもいじめ問題ということはないように思うし、保護者と学校との関係性や関与の仕方も違う。</p> <p>教員が生徒に寄り添って指導しているという先ほどの説明は本当のことだと思うが、保護者からの苦情対応等、子どもたちと接する以外の部分で苦慮することもあるだろう。</p> <p>そうしたことを踏まえ、まずは教員や事務職員を増やし、例えばテレビで取り上げられていたように、弁護士や警察官にも学校に関わってもらおうといった取組が必要なのではないか。焦って統合再編するということもない。</p>
事務局	<p>現在も校務を支援するシステムを導入するなど、環境改善に向けた取組を実施しているところだが、引き続き、教員の業務負担軽減についても検討していく。</p>

事務局	<p>10年、20年前の学校と、現在の学校が異なるということはお意見のとおりだと思う。その間、社会環境自体が変化してきたということだと捉えており、そうした変化に合わせて、学校施設のあり方から教員のスキルといったことまで、日々適応し、変化していくことが必要だと考えている。</p>
参加者	<p>小中一貫教育基本方針で期待される効果として「確かな学力の定着と向上」を挙げているが、「確かな学力」について教育委員会はどのように考えているのか。</p>
事務局	<p>これまでも小中連携教育に取り組んできたところだが、そこから発展させ、中学校区単位で統一した「めざす子ども像」を定め、一貫した教育を実施していくのが小中一貫教育である。小学校と中学校がより強固に連携することで、確かな学力を培う環境づくりに取り組んでいくという考え方。</p> <p>確かな学力とは何かといえは、全国学力学習状況調査の結果なども学力の一部だが、それだけではなく、コミュニケーション力や考える力などの目に見えない学力も含むものと考えている。</p>
参加者	<p>あいさつができるといったことも、大切なことのひとつだと思う。</p>
参加者	<p>小中一貫校にすることで確かな学力が育まれる、というような話だが、大規模校から小規模校まで様々な学校で教師を務めてきた経験から、20人程度の少人数学級で、手とお金を子どもたちにしっかりとかけていくことが確かな学力を育むものだと思う。小中一貫校を全面的に悪いというわけではないが、個々の小学校を良くする取組が積み重なれば、中学校の環境も良くなっていく。</p>
事務局	<p>1学級あたりの人数である「学級規模」と、1校あたりの人数である「学校規模」とは異なる視点で考える必要がある。今回の取組は、学校規模について一定の規模を確保することを目的に行うもの。学校規模については、これまでのアンケート調査結果や審議会答申等から、小中学校ともに12～18学級が望ましい規模だと考え、基本方針にて示している。</p> <p>一方で学級規模については、35人学級編制が実現したところではあるが、国や府に対して更なる少人数化の要望を実施している。少人数学級が望ましいという考え方の中でも、学校規模については適正規模を確保することが、子どもたちの生きる力を培う上で望ましいものと考えている。</p>

参加者	<p>いわゆる中1ギャップの解消のために施設一体型小中一貫校を設置するということが、これまで市全体で取り組んできた幼小連携がおざなりになっているように思う。今後は認定こども園等に連携を拡げていくということだが、これまでのような取組は困難ではないか。小中一貫教育を進める際には幼小連携も一体的に考えるべき。</p>
事務局	<p>これまで、幼稚園・小学校教職員のご尽力により、幼小連携の取組が本市でしっかりと根付いてきたと認識している。今後は、公民問わず取組を波及させ、岸和田市で育つ子どもたちみんなが健やかに成長できる環境づくりに取り組んでいく必要があると考えている。</p> <p>教育委員会と幼保再編担当課とが十分に連携しながら取り組んでおり、今後も継続して連携していく。</p>
参加者	<p>保護者の立場として、保育所でも保育士数が足りていないと感じる。例えば育休や産休で一時的に保育士が不在となる際に人員が補充されるかといえば、そうではない。</p>
事務局	<p>小中学校でも同様の課題がある。小規模校では配置される教員数に限りがあり、特にカバーが難しい。一定規模の学校であれば、そうした課題も解決しやすい。</p> <p>なお、幼保再編に関しては、保護者の方からのそうしたご要望も受け止めながら取り組んでいるものと捉えている。</p>
参加者	<p>こうした意見のやり取りをホームページに掲載し、例えばQRコードを活用するなど、保護者が簡単に情報を得られるよう取り組んでほしい。</p>
事務局	<p>できるだけ大勢の方に取組内容について知っていただきたいと考えている。ご意見の方策を含め、積極的な情報発信に努める。</p>
参加者	<p>現在修斉幼稚園は天神山幼稚園と連携交流しているが、その中で小学生とも交流することがある。非常に少ない人数だが、幼小連携は充実しており、小学校への入学もスムーズ。給食体験会や音楽会への参加など、例えば僅か数回の行事でも小学生のお兄さんお姉さんと接する経験を得られるのはとても大きい。一方で民間園だとそのような連携は実施していないのではないか。</p>

事務局	民間園だから連携しない、受け入れできないということではないものと考えている。
参加者	ただ、様々な校区から子どもたちが集まっている民間園で同じような取組は難しいのでは。
事務局	幼小連携についてのご意見があったが、小学校と中学校についても、身近に先輩がいる中で日常的に交流を行うことが、中学校進学に際しての不安や戸惑いを解消することにつながると考えている。
参加者	同じ小学生でもやんちゃな上級生に対して、怖いという子どももいる。中学校でも実際に様々な問題行動がみられる中で、従来の幼稚園、小学校、中学校という区分の方が望ましいのではないか。
事務局	就学前施設、小学校、中学校の連携は必ず必要なものだと考えている。子どもたちが不安を抱くことがないように取り組んでいく。これまで本市で取り組んできた幼小連携や小中連携を衰退させるのではなく、発展させることが目的ということでご理解いただきたい。
参加者	孫が他市の民間認定こども園に通園しているが、小学校との連携を行っている様子はない。
事務局	他市の状況については詳しく承知していないが、民間園に在籍する子どもも含め、市全体として就学前施設と小学校とのスムーズな接続を図る必要があるということが、本市の基本的な考え方。
参加者	各町会長の賛否や意見を伺いたいという意見があったことについて、今年の6月から校区懇談会が始まったばかりであり、現時点でまだ考え方はまとまっていない。
事務局	まだ各町会長に賛否等について答えていただく段階ではないと思っている。また、町会長の判断に全責任を負わせるといったつもりもない。懇談会の場で様々な意見を交わしながら、課題の解決につなげていきたい。
参加者	意見交換を重ねた結果、最終的な方向性が定まった場合、各町会に下ろして結論を出すことになると考えている。

事務局	<p>校区懇談会は意見交換を重ね、共通理解を醸成したり、新たなアイデアをいただいたりする場であって、最終的な意思決定を行う場という位置づけではない。</p>
参加者	<p>保護者の方の意見は、重要であると考えており、それを聞いた上で、町会として判断を行うことになるかと想定している。</p> <p>一方、修斉校区は、小学校の位置が大きく変わるので、調整が一番困難な校区になると思う。従って、意見が分かれば、賛成、反対という判断を下すことは、できないかもしれない。</p>
事務局	<p>議論を尽くさないまま、最終的な結論を求めるというつもりはない。</p>
参加者	<p>現在の保護者でも、5年経って取組が実現する時期には、既に子どもが中学校を卒業しているということもある。</p>
事務局	<p>熟議の末、方向性について一定の合意に至ったとしても、そこから（仮称）学校開校準備委員会を設置した上で、制服や校歌、校名、また校舎のレイアウト等について議論し、更に設計、工事という段階を踏む必要があるため、どうしても合意から5年程度の期間がかかる。</p>
参加者	<p>計画はまだ「案」の状態にも関わらず、保護者間では様々な噂が出ている。小中学校再編と幼保再編のことを分けるのではなく、全体的な教育に関する考え方を示し、より多くの保護者に周知しないと、意見は出にくいと思う。</p>
事務局	<p>先ほどご意見いただいた QR コードの活用といった方策を含め、情報発信に努めていく。</p>
参加者	<p>市としては小中一貫教育基本方針に基づき小中一貫教育を進めていくということだが、現在も2つの校区で懇談会の設置に至っていない。反対もある中で進めていくものではないということでしょうか。</p>
事務局	<p>混同されてしまいがちだが、小中一貫“校”と小中一貫“教育”とは異なる。岸和田市が大切にしてきた小中連携を発展させ、中学校区で一つの方向性を定めて取り組むのが小中一貫教育。小中一貫教育については、施設一体型小中一貫校の有無や設置可否に関わらず全市的に取り組んでい</p>

	<p>く。</p> <p>先ほど幼小連携についてのご意見もいただいた。本市の幼稚園は市政よりも深い歴史があり、23園が小学校併設という特徴がある。その中で長きにわたり積極的な幼小連携に取り組んできたが、現在は幼稚園の児童が非常に少なくなってきた課題がある。教育委員会として、従来の幼稚園だけでなく、保育所や認定こども園に拡大した連携に拡大、展開するために検討を重ねているところ。</p>
参加者	<p>まず施設としての小中一貫校ありきというイメージがあった。そうではないなら理解できる。</p>
事務局	<p>施設が分離している学校でも小中一貫教育を実施していく一方、施設が同一敷地に配置されている場合、物理的に様々な交流がより行いやすいという優位性がある。</p>
事務局	<p>これまで、地域のまちづくり関係のご意見やご質問もいただいており、状況によってはまちづくり関係部局の職員が懇談会に参加することも検討するが、本日の様子を見ると、今回はまだ教育関係の内容について話し合いを続けるべきだと感じた。</p> <p>時間が限られているので、本日もご意見ご質問用紙を配布させていただくが、まちづくり関係の話し合いはまだ先になっても大丈夫か。</p>
参加者	<p>市民協議会の動きとの兼ね合いもあるので、まちづくり関係部局からの参加を求めるのは先の段階でよいと思う。</p>
参加者	<p>開始時間を30分早めて、平日夜なら19時開始とするのはどうか。</p>
事務局	<p>次回開催日程については、皆様のご意向を踏まえた上で改めて調整・相談させていただく。</p> <p>前回以降様々なご質問をいただいたが、学校再編に関して新たなアイデア、ご意見もいただければ非常にありがたい。子どもたちにとってより良い教育環境の実現に向け、前向きに取り組んでいきたいと考えているので、今後ともよろしく願います。</p>
	<p>以上</p>